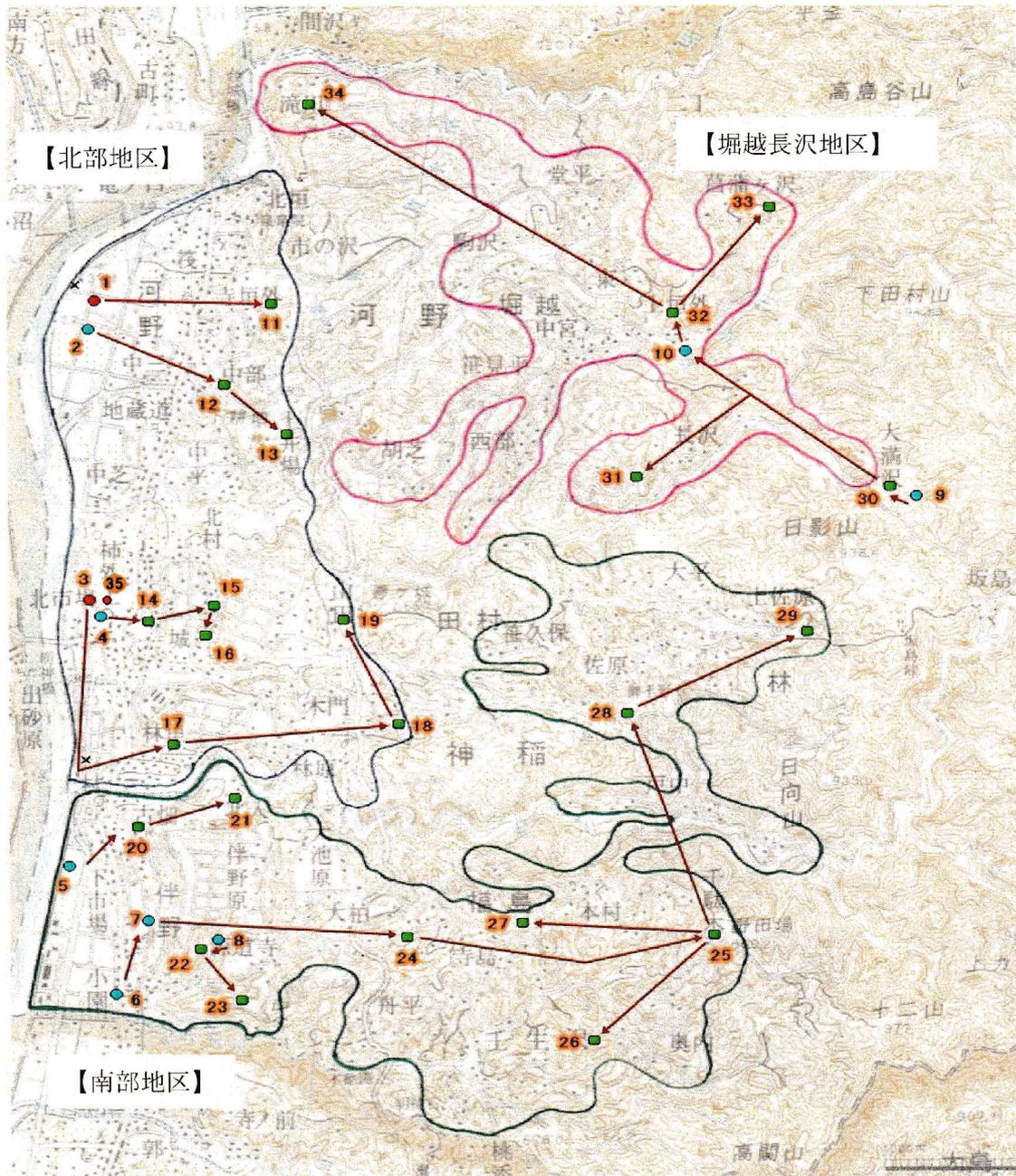
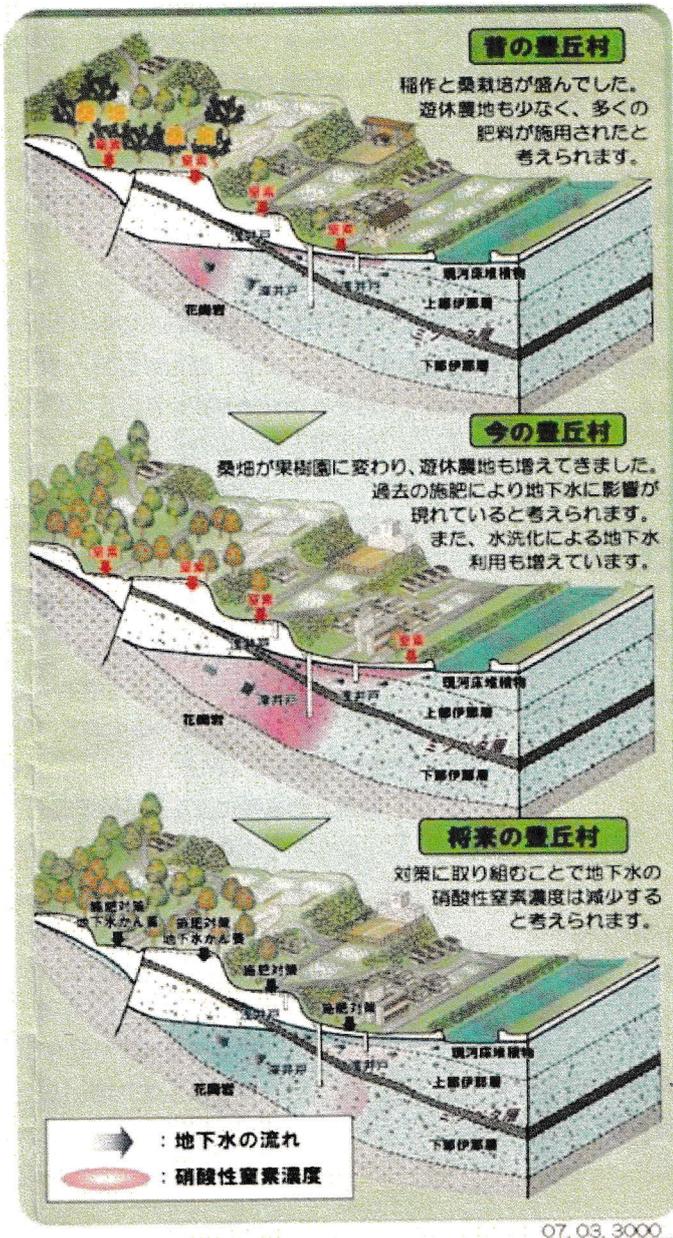


【豊丘村水道事業 水道施設 配置図】



1. 河野第四水源	8. 小園水源	15. 北村配水池	22. 小園配水池	29. 佐原配水池
2. 河野第三水源	9. 長沢水源	16. 田村高区配水池	23. 南入配水池	30. 長沢高区配水池
3. 田村第二水源	10. 堀越水源	17. 林配水池	24. 丸山配水池	31. 長沢低区配水池
4. 田村水源	11. 河野第二配水池	18. 木門配水池	25. 千駄木配水池	32. 堀越配水池
5. 伴野第二水源	12. 河野第一配水池	19. 山田配水池	26. 千生沢配水池	33. 菖蒲ヶ沢配水池
6. 南部第一水源	13. 中平配水池	20. 伴野配水池	27. 福島配水池	34. 滝川配水池
7. 南部水源	14. 山村低区配水池	21. 北入配水池	28. 御手形配水池	35. 山村第二水源



▲パンフレット「守ろう私たちの地下水  
 ～豊丘村の硝酸性窒素削減に向けて～」より



小園の谷を歩くと段丘を形作る地層に会える！

ミソベタ層とは？

今から約150万年前ころ、辰野町から諏訪湖周辺に塩嶺火山群がありました。その一部が大崩壊して火山灰と安山岩を主とする岩なだれが発生しました。その岩なだれは天龍川を流れ下り、川底の石をとりこみ火山泥流となって伊那谷を埋め尽くしました。そのときの堆積物がミソベタ層で、段丘が出来る前の基盤層です。(松島信幸先生による解説)

平成13年の豊丘村の作物構成は、表-6.2.2に示すとおりである。

表-6.2.2 豊丘村の作物構成  
 (農林業市町村別統計書より集計)

区分	水稻	果樹	飼育肥料作物	普通作物	野菜類	その他作物	計
面積 (ha)	156	316	31	11	55	24	593

③ 施肥量の経年変化

豊丘村の農地面積(図-6.2.1参照)の減少や単位面積あたりの肥料施用量の減少により、村全体の施肥量は減少傾向にある。しかし、地下水の硝酸性窒素濃度を低下させるためには、より効率的な施肥対策を実施し、農地からの施肥に伴う窒素溶脱量の軽減を図る必要がある。施肥対策の実施にあたっては、①施肥方法及栽培種毎の施肥実態の把握及び②窒素溶脱量の推算をした上で、長野県施肥基準をベースとした③適正な施肥基準の設定が課題となる。

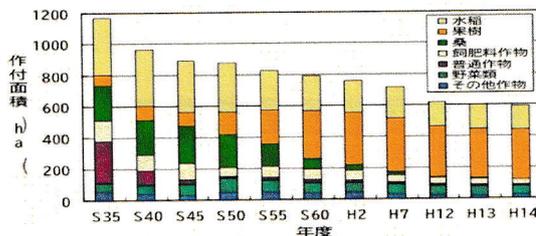


図-6.2.1 豊丘村の作付面積経年変化  
 県モデル事業成果より引用

▲環境省「平成17年度硝酸性窒素総合対策モデル事業  
 (長野県豊丘村における硝酸性窒素対策検討調査)報告書  
 (平成18年3月)より